



2021年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年7月30日

上場会社名 株式会社CEホールディングス 上場取引所 東 札
 コード番号 4320 URL https://www.ce-hd.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 惠昭
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理担当 (氏名) 田口 常仁 TEL 011(861)1600
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第3四半期の連結業績（2020年10月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	8,548	12.1	593	113.8	620	224.8	315	—
2020年9月期第3四半期	7,624	0.3	277	△48.4	191	△65.5	23	△91.7

(注) 包括利益 2021年9月期第3四半期 391百万円 (618.1%) 2020年9月期第3四半期 54百万円 (△84.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	21.10	—
2020年9月期第3四半期	1.59	1.59

(注) 1. 2021年9月期第3四半期の「親会社株主に帰属する四半期純利益」の対前年同四半期増減率は、1,000%を超えるため、「—」と記載しております。

2. 2021年9月期第3四半期の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第3四半期	8,875	5,126	53.5
2020年9月期	8,858	4,839	50.8

(参考) 自己資本 2021年9月期第3四半期 4,745百万円 2020年9月期 4,497百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	6.80	6.80
2021年9月期	—	0.00	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	—	—	6.80	6.80

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,600	18.8	900	64.5	900	98.8	480	295.2	32.12

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期3Q	15,178,500株	2020年9月期	15,139,000株
② 期末自己株式数	2021年9月期3Q	217,014株	2020年9月期	217,014株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期3Q	14,944,991株	2020年9月期3Q	15,023,813株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料につきましては、この四半期決算短信の開示後、速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7
(重要な後発事象)	8
3. その他	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナウイルス」という。）の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している状況となっております。

このような中で、感染リスクと背中合わせの環境下、国民の生命や健康を支えている医療従事者及び医療機関の皆様には、敬意を表するとともに心より感謝申し上げます。

当社グループ（当社及び当社の関係会社）が事業を展開しております医療業界においては、2021年9月にデジタル庁が発足予定であることや、オンライン診療・服薬指導に関する初診の取扱いや対象疾患など恒久化に向けた検討がされるなど、ICT[1]技術活用の促進等が求められております。引き続き、電子カルテシステム[2]を含む医療情報システムの普及はますます拡大していくものと考えております。

このような状況の中、当社グループの主力製品である電子カルテシステム「MI・RA・I s / AZ（ミライズ・エズイー）」[3]における販売が好調に推移したことなどに加え、前第2四半期連結累計期間より連結対象に追加した株式会社マイクロン及びその子会社である株式会社エムフロンティア（以下、「マイクロン」という。）の業績が加算されたことや、マイクロンにおける画像解析支援サービス[4]が好調だったことなどから、売上高につきましては前年同期比で増加しました。利益面におきましても、売上増に伴う売上総利益の増加等により、営業利益は前年同期比で大幅に増加しました。また、前年同期に特別損失などを計上した株式会社駅探に係る持分法による投資損失が減少したことから、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、それぞれ前年同期比で大幅に改善しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8,548百万円（前年同期比12.1%増）、売上総利益は1,864百万円（前年同期比39.8%増）、営業利益は593百万円（前年同期比113.8%増）、経常利益は620百万円（前年同期比224.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は315百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純利益23百万円）となりました。また、受注状況につきましては、受注高7,960百万円（前年同期比9.9%増）、受注残高4,407百万円（前年同期末比23.0%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

〔医療ソリューション事業〕

医療機関向けの自社パッケージ製品である電子カルテシステム「MI・RA・I s シリーズ」を中心に、電子カルテシステムと他社の医事会計システム等の部門システムを組み合わせ、主に中小病院向けに販売しております。また、医療情報システムの保守・運用等のサービスを提供している他、電子カルテと簡単に連携可能な問診サービスの販売を開始するなど、新たな製品の開発にも取り組んでおります。

また、主にNECグループからの委託により、地域中核病院を中心とした大病院向けの医事会計システム、電子カルテシステム、オーダーリングシステム、検査システム、輸血システム等の医療情報システムの開発を行っております。

加えて、2019年11月29日に連結子会社化したマイクロンにおいて、製薬会社・医療機器メーカー等からの医薬品・医療機器等の開発業務受託、医療用画像解析ソフトウェアの開発・販売を行っております。また、医薬品・医療機器の臨床開発及び臨床研究領域において、電子カルテ記載情報を含む臨床現場を中心とした日常診療の情報を利活用する事業を開始するなど、電子カルテシステムとのシナジー創出に取り組んでおります。

当社グループの大半を占める医療ソリューション事業の経営成績につきましては、前記の状況により、受注高7,902百万円（前年同期比9.7%増）、受注残高4,394百万円（前年同期末比23.1%増）、売上高8,427百万円（前年同期比11.4%増）、セグメント利益596百万円（前年同期比94.7%増）となりました。

〔その他〕

ヘルスケア関連情報サイト「Mocosuku」の運営、他社Webサイトの構築・運用業務、及び公共及び商業施設向けデジタルサイネージシステムの販売等を行っております。その他、ヘルスケアコンテンツの執筆や監修、企業からの従業員に対する健康相談窓口業務の受託、健康保険組合からの特定保健指導業務の受託、コンタクトレンズなどの医療機器の顧客対応窓口業務の受託、企業内での健康や栄養に関する社員研修等を行っております。

その他の経営成績につきましては、受注高57百万円（前年同期比46.2%増）、受注残高12百万円（前年同期末比5.4%増）、売上高120百万円（前年同期比95.2%増）、セグメント損失6百万円（前年同期セグメント損失9百万円）となりました。

[1] I C T Information and Communication Technology (情報通信技術) の略。

[2] 電子カルテシステム 1999年4月22日に「真正性・見読性・保存性」の担保を条件として、厚生省(当時)が容認した紙カルテを電子的なシステムに置き換えたものを指す。当社グループの電子カルテシステムは、診療記録システム・オーダーリングシステム・看護支援システム等から構成されている。なお、オーダーリングシステムとは、医師が検査や投薬等の指示(オーダー)を入力し、オーダー受取者がこれに従って処理・処置を行うシステムをいう。

[3] M I ・ R A ・ I s / A Z 2017年8月より販売を開始した、電子カルテシステム「M I ・ R A ・ I s シリーズ」の最新バージョン。より使いやすくより診療に貢献できるシステムとなるよう、多くのユーザーとともに培った機能を拡充し、操作性の改善を行うとともに、クラウドユースを想定したシステム基盤の整備を図り、医療の安全性向上、業務効率向上、患者サービス向上等の実現に寄与する。医療機関が担う役割を I C T の面から支援するため、導入された病院と、他の病院やかかりつけ医等の医療機関、介護、福祉等の施設や、在宅にて治療を進める患者や家族等、ヘルスケア分野全領域(A l l Z o n e)との連携を進めることを目標としている。

[4] 画像解析支援サービス C T や M R I 等で得られた画像データを、医薬品や医療機器等の臨床試験に活用するサービス。臨床試験において、画像データ解析を重要な指標として有効性や安全性の評価に活用するのは比較的新しい取り組みだが、近年では再生医療、A I による画像診断支援等に対象領域が広がり、将来性が期待されている。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は5,726百万円となり、前連結会計年度末に比べ105百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が1,060百万円減少したものの、現金及び預金が587百万円、仕掛品が503百万円、その他の流動資産が61百万円増加したことによるものであります。固定資産は3,148百万円となり、前連結会計年度末に比べ87百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が23百万円、無形固定資産が51百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は8,875百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,502百万円となり、前連結会計年度末に比べ73百万円増加いたしました。これは主に買掛金が41百万円、1年内返済予定の長期借入金が175百万円減少したものの、未払法人税等が170百万円、その他の流動負債が109百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,247百万円となり、前連結会計年度末に比べ343百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が369百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は3,749百万円となり、前連結会計年度末に比べ269百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は5,126百万円となり、前連結会計年度末に比べ286百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益315百万円の計上及び剰余金の配当101百万円などにより利益剰余金が213百万円、非支配株主持分が38百万円増加したことなどによるものです。

この結果、自己資本比率は53.5%(前連結会計年度末は50.8%)となりました

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、医療ソリューション事業を中心に、販売面の強化、顧客満足度向上、製品の品質向上と機能強化、及び利益率の改善に取り組んでまいります。

I C T を活用したヘルスケア関連サービスや、医療介護連携構築のための情報共有基盤の整備を進めるべく、今後も業務提携などを通じた当該サービス拡大への取り組みを積極的に推進してまいりたいと考えております。

当社グループの主たる事業は電子カルテシステムを中心とした医療情報システムの開発・販売であり、新型コロナウイルスの感染拡大については、大きな関心をもって事態の推移を注視しております。今後以下のような事象が発生した場合、連結業績に影響を与える可能性があります(例示であり、これに限るものではありません)。

- ・ 医療情報システムを受注した病院において、新型コロナウイルスの対策として病院関係者以外の施設内への立ち入り制限が行われる、あるいは、病院内での感染発生や当社グループもしくは販売パートナーの担当社員等が感染した場合、導入作業が中断し、納品が遅れることにより、売上計上が遅延する。
- ・ 医療機関が新型コロナウイルスの対策を優先することにより、当社グループまたは販売パートナーにおける営業活動が長期停滞した場合、受注状況が悪化する。
- ・ 支援を受注した医薬品等の臨床開発プロジェクトにおいて、予定された症例数(データ)を集められず、プロジェクトの進捗が遅延し、売上計上が延期する。

2021年9月期の連結業績見通しにつきましては、当第3四半期連結累計期間の経営成績が好調に推移していることから、2020年11月9日発表の「2020年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載した業績予想を修正することいたしました。詳細につきましては、本日発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,813,207	3,400,574
受取手形及び売掛金	2,231,585	1,170,836
商品及び製品	2,673	3,881
仕掛品	384,926	888,168
原材料及び貯蔵品	1,840	1,960
その他	200,527	261,658
貸倒引当金	△13,003	△263
流動資産合計	5,621,757	5,726,817
固定資産		
有形固定資産	594,055	570,278
無形固定資産		
のれん	189,083	172,131
その他	498,962	464,882
無形固定資産合計	688,045	637,014
投資その他の資産		
関係会社株式	956,664	905,439
その他	1,033,825	1,060,080
貸倒引当金	△36,260	△24,110
投資その他の資産合計	1,954,230	1,941,409
固定資産合計	3,236,332	3,148,703
資産合計	8,858,089	8,875,520
負債の部		
流動負債		
買掛金	916,310	874,487
1年内償還予定の社債	34,000	37,000
1年内返済予定の長期借入金	697,879	522,412
未払法人税等	9,105	179,653
賞与引当金	205,093	212,998
その他	565,967	675,756
流動負債合計	2,428,357	2,502,306
固定負債		
社債	30,000	5,000
長期借入金	1,336,036	966,891
退職給付に係る負債	176,365	189,878
その他	48,008	85,362
固定負債合計	1,590,410	1,247,132
負債合計	4,018,767	3,749,439
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,165,415	1,175,942
資本剰余金	1,191,267	1,201,794
利益剰余金	2,231,984	2,445,925
自己株式	△100,410	△100,410
株主資本合計	4,488,257	4,723,251
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,283	22,117
その他の包括利益累計額合計	9,283	22,117
非支配株主持分	341,781	380,712
純資産合計	4,839,322	5,126,081
負債純資産合計	8,858,089	8,875,520

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
売上高	7,624,087	8,548,467
売上原価	6,289,902	6,683,855
売上総利益	1,334,184	1,864,611
販売費及び一般管理費	1,056,467	1,270,984
営業利益	277,716	593,627
営業外収益		
受取利息	57	47
受取配当金	2,800	2,295
投資事業組合運用益	890	31,173
保険解約返戻金	6,961	1,453
その他	3,404	11,547
営業外収益合計	14,115	46,516
営業外費用		
支払利息	7,663	7,224
持分法による投資損失	90,709	12,424
その他	2,409	—
営業外費用合計	100,782	19,648
経常利益	191,049	620,495
特別利益		
投資有価証券償還益	120	120
新株予約権戻入益	159	—
特別利益合計	279	120
特別損失		
持分変動損失	773	—
投資有価証券評価損	10,669	—
その他	—	0
特別損失合計	11,442	0
税金等調整前四半期純利益	179,886	620,615
法人税、住民税及び事業税	105,275	280,257
法人税等調整額	24,747	△38,484
法人税等合計	130,023	241,773
四半期純利益	49,863	378,841
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	23,883	315,410
非支配株主に帰属する四半期純利益	25,979	63,431
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,679	12,833
その他の包括利益合計	4,679	12,833
四半期包括利益	54,542	391,675
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,563	328,243
非支配株主に係る四半期包括利益	25,979	63,431

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する会計上の見積りにおいて、前事業年度の有価証券報告書の「第5経理の状況 1 連結財務諸表等（1）連結財務諸表 注記事項（追加情報）（会計上の見積り）」に記載いたしました仮定に重要な変更はありません。

（セグメント情報）

I 前第3四半期連結累計期間（自 2019年10月1日 至 2020年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注) 3
	医療ソリューション事業				
売上高					
外部顧客への売上高	7,562,187	61,899	7,624,087	—	7,624,087
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,562,187	61,899	7,624,087	—	7,624,087
セグメント利益又は損失（△）	306,501	△9,804	296,697	△18,981	277,716

（注）1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ヘルスケア関連情報サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失（△）の調整額△18,981千円は、セグメント間取引消去145,712千円及び報告セグメントに帰属しない一般管理費△164,694千円であります。

3 セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

第3四半期連結会計期間において、株式会社とらうべの全事業（但し、介護相談事業及び施設紹介事業を除く。）を会社分割の方法により承継いたしました。なお、当該事象による報告セグメントに帰属しないのれんの増加額は、第3四半期連結累計期間においては27,236千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注) 3
	医療ソリューション事業				
売上高					
外部顧客への売上高	8,427,654	120,813	8,548,467	—	8,548,467
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,427,654	120,813	8,548,467	—	8,548,467
セグメント利益又は損失(△)	596,879	△6,485	590,394	3,232	593,627

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ヘルスケア関連情報サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額3,232千円は、セグメント間取引消去165,149千円及び報告セグメントに帰属しない一般管理費△161,917千円であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

のれんの金額につき、重要な変動はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

生産、受注及び販売の実績

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)	前年同期比(%)
医療ソリューション事業(千円)	7,187,395	113.2
その他(千円)	20,124	135.1
合計(千円)	7,207,520	113.3

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 生産実績は当期総製造費用で表示しております。
 3 セグメント間の取引については相殺消去しております。

(2) 受注実績

当第3四半期連結累計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)			
	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期末比(%)
医療ソリューション事業	7,902,231	109.7	4,394,320	123.1
その他	57,798	146.2	12,799	105.4
合計	7,960,030	109.9	4,407,120	123.0

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 セグメント間の取引については相殺消去しております。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)	前年同期比(%)
医療ソリューション事業(千円)	8,427,654	111.4
その他(千円)	120,813	195.2
合計(千円)	8,548,467	112.1

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 セグメント間の取引については相殺消去しております。
 3 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、当第3四半期連結累計期間において、総販売実績の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。